

事業番号	05 02 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	救命救急医療対策事業	部局	健康福祉部	課・室	医療政策課	
		実施期間	S54～	E-mail	iryo @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・救急医療体制の充実に不可欠である救命救急センターの運営状況は、慢性的な赤字状態にある
- ・全県をカバーする広域救急搬送体制を確保するため、ドクターヘリの運航は効果的である
- ・適切な救急・災害医療を提供するためには、医療施設・設備の整備を行う必要がある
- ・平成15年以降の救急救命士による処置範囲の拡大に伴い、その技術や知識の向上が必要である
- ・長野県DMAT隊員の登録者は400名を超えたが、その技能を維持する研修や訓練を企画する必要がある

2 事業目的

- ・患者の状態に応じた適切な救急医療が提供される体制を構築する
- ・災害時においても必要な医療が確保される体制を構築する

3 事業目的を達成するための取組

①救急医療体制の整備

- ・重篤救急患者の医療を確保するため、救命救急センターの運営費を支援
- ・全県をカバーする広域救急搬送体制を確保するため、ドクターヘリ2機の運航を支援
- ・災害拠点病院や病院群輪番制病院が行う施設・設備の整備を支援
- ・救急医療機関や消防の負担軽減、県民への安心安全の提供のため、救急安心センター（#7119）を設置

②災害医療体制の整備

- ・県の災害、救急医療体制を協議するため、専門家による連絡会を開催
- ・災害医療関係者の資質向上のための研修の実施
- ・DMATの体制整備のため、協議・検討、隊員の養成、訓練の実施・参加支援を行う

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	救命救急センターの充実度評価 A以上の割合	%	100	100	→	100	→	100	達成	昨年度と同様の割合を設定	
②-1	気管挿管技能認定救急救命士 再教育講習の累計受講者数	人	332	368	↗	403	↗	404	未達成	メディカルコントロール体制の強化のため、年間で受講できる最大 人数が受講するよう設定	
②-2	長野県DMAT養成研修修了者 数	人	392	434	↗	476	↗	476	達成	県の災害対応力を維持していくため、R3年度と同人数が研修を 受講するよう設定	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-5②	充実した医療・介護提供体制の構築	救命救急センターの充実度評価Aの割合	%	2021 (R3)	100	2022 (R4)	100	2023 (R5)	100	2027 (R9)	100

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	26,831	1,094,698	△ 173,876	947,653	464,778	928,617	2.2
R4年度	0	1,127,863	△ 205,875	921,988	519,568	785,329	2.2
R3年度	0	1,095,718	△ 251,426	844,292	424,559	809,931	2.2

事業番号	05 02 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	救命救急医療対策事業		部局	健康福祉部	課・室	医療政策課

7 主な取組実績と成果

①救命医療体制の整備

- ・病院群輪番制病院、災害拠点病院等の機能を強化するため、7施設の施設・設備の整備に対し、総額40,748千円の支援を行った。
- ・救急医療を確保するため、救命救急センターに対する運営費（4施設 224,850千円）や施設・設備整備等（1施設 6,425千円）に対する支援を行った。
- ・広域救急搬送体制を確保するため、信州ドクターヘリ運航費に対する支援（2施設596,007千円）を行った。
- ・長野県メディカルコントロール協議会を2回開催し、構成員から救急医療に関する意見をいただくとともに、メディカルコントロールに関して消防士を対象とした研修を実施し、救急救命処置の質の向上を図った。（気管挿管再教育講習1回、ビデオ喉頭鏡追加講習2回）
- ・急な病気やけが等で、救急車を呼ぶか病院に行くか迷った際の電話相談窓口「長野県救急安心センター（#7119）」を令和5年10月から運営し、救急医療機関や消防機関の負担の軽減を図った。（相談実績 5,187件）

②災害医療体制の整備

- ・災害拠点病院連絡会議を1回、DMAT連絡会議を2回開催し、今後の災害医療体制の整備について検討を行った。
- ・DMATと協働し長野県総合防災訓練に参加し、実際の災害時における医療提供体制の確認等を行った。
- ・地域災害医療コーディネーターや地域災害医療本部構成員を対象とした災害医療コーディネーター研修には29名の方に参加いただき、地域実情を踏まえた災害医療について研修を行った。参加者からは、多くの機関が集合した当該研修は大きな意義があったと好評な意見をいただいた。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	救命救急センターの充実度評価A以上の割合	R4年度推移	→	R5年度推移	→	達成状況	達成
充実度評価項目には医師等の配置状況、搬送受入要請への応需率の把握との改善への取組み、手術室や検査室の体制等があり、運営費への支援や施設・設備の整備に対する補助を行うことにより引き続き目標を達成した。							
指標②-1	気管挿管技能認定救急救命士再教育講習の累計受講者数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	未達成
気管挿管技能の周知・普及拡大により着実に認定者数の増加につながっていることから、さらなる増を目指して引き続き1回の再教育講習と周知を図った。開催直前に受講予定者1名が受講要件を満たさず対象外となったため、受講人数は目標値を下回った。							
指標②-2	長野県DMAT養成研修修了者数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
県内のDMAT指定病院に広く受講者を募集し、また新型コロナ対策を行い研修を実施したことで、目標を達成した。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・各種研修会・講習会の充実や、現在は各地域ごとに策定され運用されている救急隊員の標準的な活動内容を定めたプロトコルの県内統一化によるメディカルコントロール体制の更なる充実が求められている。
- ・DMAT養成研修について受講希望者が多く、全ての希望者が受講出来ない状況になっている。
- ・令和6年能登半島地震における対応では、DMAT活動の長期化や被災地からの患者搬送の方法等、様々な課題が見つかった。

(2) 事業改善の方策

- ・メディカルコントロールに関する研修会・講習会の実施内容の充実を図るほか、脳卒中及び循環器病に関する県内統一のプロトコルの策定と策定後の見直しなど、メディカルコントロール体制の強化を図り、救急医療提供体制の確保を図っていく。
- ・DMAT養成研修については県内DMAT指定病院からの受講希望者が多くいるため、継続的に実施すると共に、研修内容の充実に努めていきたい。
- ・その他の訓練や研修については、参加者から好評な意見をいただいているが、令和6年能登半島地震を踏まえた訓練や研修内容の充実を図り、災害時における医療提供体制の確保を図っていくこととしたい。

事業名	救命救急医療対策事業	部局	健康福祉部	課・室	医療政策課
-----	-------------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	救急緊急医療費損失補てん事業	2,363 千円	2,363 千円	2,363 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	救急緊急医療費損失補てん事業補助金	補助金	医療機関が救急医療を提供した結果、未収となった医療費に対して補助 12事業者に、2,363千円を補助	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	広域災害・救急医療情報システム運営事業	36,048 千円	43,070 千円	40,683 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	広域災害・救急医療情報システム運営事業	直接委託	システムの賃借及び運営の委託 システム賃借・運用経費32,169千円	
2	広域災害・救急医療情報システムデータ移行事業	委託	・全国統一システム稼働に向けた移行データの作成を委託 令和6年度から全国統一システム稼働	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	長野県救急医療機能評価会議（仮称）運営事業	0 千円	0 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	長野県救急医療機能評価会議（仮称）の開催	直接	救急医療機能評価会議（仮称）の開催 開催に向け準備・病院と協議を行ったものの未開催（令和6年度開催予定）	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	救命救急センター運営費補助金	221,987 千円	158,731 千円	224,850 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	救命救急センター運営費補助金	補助金	救命救急センターの運営費（給与費、材料費等）を支援 4施設、224,850千円を補助	

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	ドクターヘリ運航事業		517,544 千円	537,806 千円	596,016 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ドクターヘリの運航	補助金	ドクターヘリの運航に要する経費を支援 2 施設、596,007千円を補助		
2	電波利用料負担金	負担金	ドクターヘリの運航に係る無線局の電波利用料を負担 電波利用料 8,800円		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
6	救急医療対策費施設・設備整備事業		28,260 千円	34,658 千円	47,173 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	救急医療対策費施設・設備整備事業補助金	補助金	病院群輪番制病院や地域災害拠点病院、救命救急センター等の施設・設備の整備を支援 8 施設、47,173千円を補助		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
7	長野県メディカルコントロール協議会		289 千円	429 千円	460 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県メディカルコントロール協議会の開催	直接	長野県メディカルコントロール協議会を開催 開催数 2回		
2	気管挿管技能認定救急救命士再教育講習の実施	直接	気管挿管技能認定救急救命士に対する再教育講習を実施 開催数 1回		
3	ビデオ喉頭鏡追加講習の実施	直接	ビデオ喉頭鏡追加講習を実施 開催数 2回		
4	長野県メディカルコントロール講習会の実施	直接	長野県メディカルコントロール講習会を実施 実施に向け準備を行うも未実施		

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
8	災害医療体制整備事業	3,440 千円	8,272 千円	7,910 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	災害・救急医療提供体制検討会議等の開催	直接	災害・救急医療体制検討協議会、災害拠点病院連絡協議会、DMAT連絡会議、災害医療コーディネート研修等を開催 開催数 災害拠点病院連絡会議 1回、DMAT連絡会議 2回、災害医療コーディネート研修 1回	
2	災害医療研修会等の実施	直接 委託	災害医療関係者の資質向上のための研修を実施 能登半島地震対応を考慮し中止	
3	長野県DMAT養成研修等の実施	直接 委託 補助金	・災害時に長野県DMATとして活動する者を養成 ・長野県DMATの資質向上のための研修を実施 養成数 42名 実施数 長野県DMAT養成研修 1回	
4	総合防災訓練等参加支援事業	補助金	政府主催総合防災訓練へ参加する者に対して参加経費を補助 6病院	
5	DMAT活動保険料	直接	災害発生時に派遣するDMAT隊員を対象とした傷害保険に加入 保険料総計 2,042,054円	
6	航空搬送拠点臨時医療施設（SCU）運用体制の整備	直接	SCU設置運営訓練等の実施 SCU用医療機器の点検・更新 購入物品 酸素濃縮装置 2セット	
7	災害時情報通信体制等の整備	直接	災害時情報伝達研修や衛星携帯電話等による災害時通信体制の構築 衛星携帯電話整備数：12台 研修実施回数：1回	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
9	救急安心センター（#7119）事業	- 千円	- 千円	9,162 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	救急安心センター（#7119）の設置	委託	医療機関が外来診療を行っていない時間帯（夜間・深夜及び休日）に、住民からの電話相談に応じる窓口を設置 電話相談窓口の設置 相談件数 計5,187件（令和5年10月～令和6年3月）	
2	救急安心センター（#7119）の広報	委託	救急安心センター（#7119）の普及・啓発を実施 ポスターを医療機関等へ配布 3,000枚、テレビCMの放映 40回 など	